

組合ニュース

発行：2018年11月22日

大分大学教職員組合

TEL・FAX：097-554-7998

E-Mail: oitauu@fat.coara.or.jp

第3回団体交渉報告

非常勤職員の雇用期限の廃止に向け一歩前進 対象範囲について現在交渉中

11月15日に第3回団体交渉を行いました。団体交渉には、非常勤職員の方々が雇用期限廃止への願いと職務への思いを込めて組合にお寄せくださった「ひとことカード」と、教職員・学生・家族など多くの方にご協力いただいた「千羽鶴」を持って行き、みなさまの声を法人側に伝えました。「ひとことカード」に提起されていたいくつかの労務管理上の問題は、人事課も把握していない内容だったようで、大変有意義でした。このたび、法人から第二次回答として、以下の文面が出て参りました。

「将来にわたって法人の業務の適正かつ円滑な運営を確保するため、必要とされる資格、免許等を有する非常勤職員についても、雇用期限の廃止について検討したい。」

読み方によっては、今後の検討をするポーズを体面上整えたに過ぎないようでもあります。今回の交渉の過程で、来年度4月からの制度であること、資格、免許はもちろんのこと「等」と書いてあり、



団体交渉にて、ひとことカード読み上げる様子

「等」の内容については、組合と交渉していくことを確認しています。

今後の私たちの対応として2つあります。

第1は、上記法人対応は、今年度中に雇止めされる非常勤職員を対象としていないため、この方々への必要かつ十分な対応を求めることです。

第2は、新制度の作成にあたり、対象範囲の基準の確定を人事課と事務折衝等を通じて行い、その基

準が客観的なものとなるようにすることです。

加えて、もっとも重要な点は対象範囲の拡大です。そのために、2回目の組合主催の非常勤職員説明会を開催し、非常勤職員の方々からの声を集めて、特殊な専門技能や資格に限られない、それぞれの方が有している職務専門性の洗い出しと基準化を図りたいと考えています。この作業を通じて、多くの方が新制度下で雇用期限廃止の対象となるような仕組みを法人に提案して参ります。

このように第二次回答にも問題点は数多くありますが、これまで対象者拡大の姿勢をまったく見せなかった法人が上記方針を示したことは、大きな一歩です。粘り強く主張することの重要性を改めて感じましたが、それ以上に、ひとことカードと千羽鶴を通じて集まった、みなさまの思いが強力な後押しとなりました。

みなさまのご協力に感謝するとともに、今後も説明会実施をはじめとして、引き続きご協力をお願い致します。

無期雇用を願う折り鶴 宣伝行動を行いました

組合では、非常勤職員の雇用期限廃止の願いを込めて、折り鶴の作成の協力を呼びかけて参りました。11月1日のお昼休みの時間には、生協前の組合掲示板前にて、大分大学における非常勤職員の5年雇止め問題と呼びかけながら、学生・教職員に折り鶴を折ってもらう宣伝行動を行いました。短時間ながら、多くの学生・教職員がこの雇用問題に関心を持ち、宣伝行動に同調してくれ、約200羽の折り鶴が集まりました。

上の記事の通り、これまで組合にお寄せいただいた折り鶴は団体交渉に持っていき、一定の成果も得ることができました。ご協力いただいたみなさまには改めてお礼申し上げます。

しかし、今回の団体交渉の成果は、はじめの一歩にすぎません。雇用継続を希望するすべての方が5年を超えて働き続けられる仕組みづくりに向けて、いっそう協力して交渉を前に進めていきましょう。



昼休み宣伝行動で約200羽の折り鶴
が集まりました。

ご協力ありがとうございました。

